

令和5年度一般選抜 出題意図

本課程のアドミッションポリシーでは、一般選抜の選抜方針として『緻密な論理的思考力と社会に対する洞察力、それを支えるバランスのとれた学力、美や造形に対する関心と感受性、人間や社会およびビジネスに対する関心と理解力、コミュニケーション能力と協調性、新しい可能性に向けての創造力と表現への熱意』を求めている。また、個別学力検査の『総合問題』は「提示されたデザイン・建築・ビジネス・テクノロジーに関する課題に対して、創造力、構成力、描画力及びそれらの総合力、並びに自分の考えをまとめる能力を評価します。」と設定している。

今回の総合問題では、論理的思考力と社会に対する洞察力、人間や社会およびビジネスに対する関心と理解力、新しい可能性に向けての創造力と表現力を問うことを目標に作成した。

解答例は以下の通りである。問題 II は図画であるため省略する。

問題 I

問 1

解答 ②

問 2

解答例 「那覇のバスターミナル」には、著者にとっての沖縄本島への旅の扉としての役割と、復帰前の沖縄のさまざまな情景を呼び起こす記憶装置としての役割の2つがある。

問 3

解答 ② ③

問 4

解答 ③

問 5

解答例 著者の指摘する「沖縄らしさ」とはつぎの2つである。ひとつが「今では少なくなっていたけど」といったフレーズとともに語られる沖縄独自の文化・習俗、自然、そしてナイチャー・観光客が探し求める昔の沖縄の面影である。もうひとつが、沖縄の人々の日常生活にある、当たり前すぎて、注意してみないとわからない「ふつう」の沖縄である。